

## 土地改良区「女性の理事」のその後

～女性の理事を登用した土地改良区にお聞きしました～

「女性の理事はどのような業務（仕事）をしていますか。」「土地改良区はどう変わりましたか。」女性の理事を検討している土地改良区さんの参考になるよう事例を集めました。

「女性だから、男性だから」ということでなく、「女性の理事」という新たな試みがより良き組織体制への「一石」となり得ると感じていただけると幸いです。

なお、この事例は、本会HP〈[■土地改良区女性理事登用事例【令和5年度調査】](#)〉に掲載した土地改良区さんにお聞きしました。ぜひ登用事例ページも併せてご覧ください。

掲載土地改良区	都道府県
狩場利別土地改良区	北海道
大雪土地改良区	北海道
稲生川土地改良区	青森県
胆沢平野土地改良区	岩手県
米沢平野土地改良区	山形県
阿賀川土地改良区	福島県
漕代土地改良区	三重県
立梅用水土地改良区	三重県
奥海印寺土地改良区	京都府
南紀用水土地改良区	和歌山県
山川地区土地改良区	福岡県
鹿島市土地改良区	佐賀県
鍋島東土地改良区	佐賀県
大島堰土地改良区	宮崎県
大淀川右岸土地改良区	宮崎県
財部町土地改良区	鹿児島県
鹿児島市松元土地改良区	鹿児島県

※土地改良区・連合の皆様、載せる事例がありましたら、全国水土里ネットまでご一報ください。

## 土地改良区「女性の理事」のその後

Q. 「女性理事はどのような業務（仕事）をしていますか。」「土地改良区はどう変わりましたか。」、登用を検討している土地改良区さんはそこが疑問のようです。もちろん「男性理事と同じ仕事をやっています。」も当然の答えです。

皆様の土地改良区の状況を教えていただけますでしょうか。



全国水土里ネット

土地改良区名：かりぼとしべつ**狩場利別土地改良区（北海道）**

〈太田越緑理事より〉令和3年3月選任

### ■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

私自身は何も違和感なく理事の役割を受けました。異業種では女性の参画が進んでいますが、農業分野、特に北海道は兼業農家が少なく、経営者として女性が前に出る場面や意識が育っていません。男性の仕事、女性の仕事の住み分けが強いのです。

役割は男性理事と同じですし、自身の意見は率直に述べます。女性が理事であるための勇氣は必要ありません。

### ■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

女性の登用は特に家族の理解が一番です。また、土地改良区が自身の経営にどれほど重要に関わっているか認識している組合員が少なすぎます。職員に土木女子を採用する等、そちらから男性の世界のイメージを変え、親しみや柔軟さを示さなければ女性役員の登用はなかなか進まないと思っています。“女性に何ができるの？”と思われるところの多い世界で、土地改良区内部の雰囲気緩和や職員のケアに目を配るのも見えない役割と考えます。

〈理事長、男性理事、事務局長より〉

### ■登用によって土地改良区に生じた変化、登用を検討している土地改良区へのアドバイス。

女性理事が就任してから特に変わったことはありませんが、事業制度や政策については全体を見るだけではなく、地域や家庭目線での発言は参考になりますし、大変重要だと思います。

（制度が変わるわけではないので思うようにはいきませんが）国、道も女性職員が増えれば議論も活発になるでしょうし、違った目線で事業展開ができるのではないのでしょうか。また、“男社会の慣例”も女性目線では違和感がある場合もあるようです。

当土地改良区は、理事候補が偶然女性であっただけで何かをしたわけではないのでアドバイスは特にありませんが、本来は女性組合員が増え、その中から当区のように立候補者が出て来るのが自然であり、理想だと考えております。（理事長）

### ■候補者探しや承諾までの苦労とうまくいく秘訣（義父母に説明など）。

候補者を探したわけではありませんので苦労などは特にありません。他の団体でも家族（経営主（男性））の理解が得られないことが多いと聞きますので、それが一番苦労するのではないのでしょうか？

## 土地改良区「女性の理事」のその後

Q. 「女性理事はどのような業務（仕事）をしていますか。」「土地改良区はどう変わりましたか。」「登用を検討している土地改良区さんはそこが疑問のようです。もちろん「男性理事と同じ仕事をやっています。」も当然の答えです。

皆様の土地改良区の状況を教えてくださいませんか。



土地改良区名：<sup>たいせつ</sup> **大雪土地改良区（北海道）**

~~~~~  
〈佐藤緒理恵理事より〉 令和4年9月選任

■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

理事会・総代会などの集まりでは、多人数の男性の中に私一人なので、発言のしにくさは感じていました。委員会などの少人数の場ではまだ話がしやすいです。

（理事会では疑問に感じたことは、他の理事が先に質問しているので発言できていません。）

■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

やはり一人だと心細いかと思うので、何人が同時に声をかけるとよいのではないのでしょうか。同時に土地改良区の理事会などに出席する管理職にも、女性が増えればよいと感じました。

~~~~~  
〈理事長、男性理事、事務局長より〉

■登用によって土地改良区に生じた変化、登用を検討している土地改良区へのアドバイス。

当土地改良区としては女性理事1名ということもあり、理事会等での発言しづらい環境で、変化等についてはなかなか感じられていない状況です。（理事長）

■候補者探しや承諾までの苦労とうまくいく秘訣（義父母に説明など）。

当土地改良区の女性理事は正組合員であり、女性理事の父が総括監事だったこともあり、意外とスムーズに進められました。ダメだろうと思わず、土地改良区に関係があった家族等をお願いをするのもよいと思います。

また、法人の構成員から選出する方法もあります。法人の代表の意見を伺いながら進めるのもよいと考えます。あとは員外から土地改良区に興味のある方を探すしかないと思います。（理事長）

## 土地改良区「女性の理事」のその後

Q. 「女性理事はどのような業務（仕事）をしていますか。」「土地改良区はどう変わりましたか。」、登用を検討している土地改良区さんはそこが疑問のようです。もちろん「男性理事と同じ仕事をやっています。」も当然の答えです。

皆様の土地改良区の状況を教えてくださいませんか。



土地改良区名：いなおいがわ 稲生川土地改良区（青森県）

~~~~~  
〈蛸名優子理事より〉令和4年8月選任

■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

食を担っているのは、半分は女性です。地域の女性のアイデアを取り入れたら、土地改良区も地域ももっと活性化するでしょう！

■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

理事の仕事に必要な資格はないと思います。今まで培ってきた経験を活かす時です。

~~~~~  
〈佐々木和枝理事より〉令和4年8月選任

■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

農家であり、農業委員や6次産業化にも携わっている経験を活かして、土地改良区のことをしっかりと勉強したいと思います。

■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

理事になったからと言って全てを任せられるわけではありません。他の理事（監事、事務局等）と一緒に土地改良区のこと、未来のことについて考えて行きましょう！気負わずに！

~~~~~  
<理事長、男性理事、事務局長より>

■登用によって土地改良区に生じた変化、登用を検討している土地改良区へのアドバイス。

会議の場においても色々な意見を頂いており、組織の運営に新しい視点が増えたことを感じています。また、女性理事の登用後も、支障や停滞することなく今まで通り上手く運営できていることが、「土地改良は男性でなければ」という意識が変わりつつある良い変化ではないかと思います。登用を検討している土地改良区へのアドバイスとして、働きやすい職場環境を整えること（受入協力体制）と女性の活動の様子を広報等で広く情報発信することでより理解を得られると思います。（事務局）

■候補者探しや承諾までの苦労とうまくいく秘訣（義父母に説明など）。

「どのようにして候補を見つけるのか？」が苦労しました。当土地改良区では最初に県の女性人材バンク等を活用して候補者を探し、本人に承諾いただきました。

うまくいく秘訣として、共に関われる環境や女性の会の活動等、女性が前に出やすい雰囲気伝われば承諾のきっかけや後押しになると思います。（事務局）

## 土地改良区「女性の理事」のその後

Q. 「女性理事はどのような業務（仕事）をしていますか。」「土地改良区はどう変わりましたか。」「登用を検討している土地改良区さんはそこが疑問のようです。もちろん「男性理事と同じ仕事をやっています。」も当然の答えです。

皆様の土地改良区の状況を教えていただけますでしょうか。



土地改良区名：いさわへいや**胆沢平野土地改良区（岩手県）**

〈佐々木育子理事より〉 令和5年2月選任

■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

2年目を迎えても理事としての役割を果たしているのかとも思います。女性が入るから変わるものではないが家庭に地域に男性、女性が居るように理事会にも女性が居ることが当然と思うこと、会議の中に女性の目があるということをも男性理事が認識し一緒に参画していくことが健全です。その意味では当理事会はうまく回っているように感じます。私自身理事になったことにより、田畑に愛着がわき身近な存在になってきました。そういう女性を多く増やし、地域みんなで連携して郷土の自然を守り、子ども達に伝えていけたらよいと思います。

■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

- ・理事会が男女で構成することが普通であると男性理事に認識させること。
- ・女性の井戸端会議に将来の土地改良区改善のヒントが含まれていることもあります。そのため土地改良区と地域のパイプ役として女性登用は必要。また、多様な考えを持つ員外理事制度は女性の登用を進めやすいのではないかと思います。

〈門脇諭美理事より〉

■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

理事となり、土地改良区への事業の理解度が深まるほど、地域の人達と密接なつながりがなければ役員になることはないと感じました。“男女平等参画だから”女性理事ではなく、“この人だから”女性理事なのではと感じました。

■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

私たちの土地改良区の理事長は、常日頃から「どんな些細な事でも気になることは話してみなさい。」が口癖です。私たちは誰とでも基本的なことから、具体的な内容まで議論ができていく理事会だと思っています。このような、何でも気兼ねなく話せる環境づくりが大切だと思います。また、自分達の土地改良区で女性理事が“なぜ必要なのか”を明確にすることが重要であり、そのことが次につながるのではないのでしょうか。

~~~~~  
〈吉田あや子理事より〉

■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

うっかり受けてしまった土地改良区の理事。会議に出るにつれて、非農家の私でよかったのか？と思いました。が、理事長や先輩理事、職員の皆様、総代さん達や地域の役員さん方にいろいろなことを教わりながら、2年目を迎えました。

毎月の理事会、工事審査、入札等、責任と緊張を伴いながらも、事務方がしっかりしているので、安心して臨むことができます。担当地域からの理事は私一人なので、知り得た知見は総代さんや地区役員さんに提供し、少しでも地域のためになればと思っております。

土地改良区に関わるようになって気になるようになったのは、水路の水と田んぼの様子です。今は田植えも終わりました。この涼やかな景色がいつまでも続いてほしいと願っております。

■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

何事もしっかりとした裾野の広がり的大事ということで、共に働く農家の奥様方に組織の中に少しずつでも入って、分区長、総代という役職に就いていただけるとよいのではないかと思います。地域の女性に目を向けるよい機会ではないでしょうか。何といたっても、選ぶ側にいるのは、旦那様達ですから。

~~~~~  
〈千田公喜理事長より〉

■登用によって土地改良区に生じた変化、登用を検討している土地改良区へのアドバイス。

理事会での女性理事からの意見は貴重です。登用から1年が経過しさらに積極的に発言いただいております。実践して知識も増え自信をもって意見していると感じます。議論に男女など関係ありませんので、成果目標に向かって進めていきましょう。

■候補者探しや承諾までの苦労とうまくいく秘訣（義父母に説明など）。

現役員が女性理事を選ぶのではなく、地域に任せて、地域代表の総代や分区長が候補者を選任いただく方法がよいと思います。そして、粘り強く誠意をもって説明すれば理解いただけると信じております。断られたからといって次々と別の人をお願いすることは避けて、意中の人に交渉することが肝心だと思います。

## 土地改良区「女性の理事」のその後

Q. 「女性理事はどのような業務（仕事）をしていますか。」「土地改良区はどう変わりましたか。」「登用を検討している土地改良区さんはそこが疑問のようです。もちろん「男性理事と同じ仕事をやっています。」も当然の答えです。

皆様の土地改良区の状況を教えていただけますでしょうか。



土地改良区名：よねざわへいや**米沢平野土地改良区（山形県）**

〈女性理事より〉令和5年3月選任

■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

- ・理事になり一年が過ぎました。まだまだ分からない点がたくさんあり、会議のたび頭を悩ませています。男女共同参画については、やはり女は家事や親の介護、孫の子守など男性とは違う点があり、家族の理解がなければできない仕事だと思います。
- ・非農家で員外理事という立場で、できる事を1年間考えてきましたが、まずは、いろいろな立場の方々と農業について語り合い、女性目線で考えられる意見を述べていくことを実行していきたいと思いました。

■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

- ・私のように農家をしていなくても土地改良区のことを何も知らなくても家族の理解とやる気があれば、誰でもできると思います。
- ・土地改良区が抱える問題を皆で力を合わせて解決するために、女性理事としてできることは、男女問わず皆の意見を引き出す力を発揮することと考えます。

〈理事長、男性理事、事務局長より〉

■登用によって土地改良区に生じた変化、登用を検討している土地改良区へのアドバイス。

- ・女性理事が加わったことで女性目線からの意見を得る機会があることや、また、いろいろな場の雰囲気柔らかくなったように感じます。（理事長）
- ・女性理事の登用により会議の雰囲気が明るくなり活気が出てきたと思います。ご本人も懸命に土地改良業務を理解しようと努力しており今後の活躍につながるよう、また、組合員の理解に期待が持てます。（男性理事）
- ・登用を検討している土地改良区があれば、計画を立てそれぞれの役員の周りに、「この人ならどうだろう」と思う人がいれば、まず躊躇せずに声がけをしてみることから実行してみてもいいと思います。（男性理事）
- ・視点の違う意見が現れ、思考に変化がでてきました。（事務局長）

■候補者探しや承諾までの苦労とうまくいく秘訣（義父母に説明など）。

- ・ 候補者を取り巻く環境等の状況と要望などを汲み取って、候補者の気持ちに理解を示しながら対話をし続ける。
- ・ 初対面で突然話を持ちかけても応じてもらえなかったりするので、普段から多方面で顔見知りや交流を持つておくことも必要。
- ・ 候補者探しがうまくいくかどうかは、「この人ならば」と思った人に声掛けすることからだと思います。秘訣は分かりませんが、私の場合は農業委員会を通して同じ委員としてお声掛けしたところ、快く承諾してもらえたということでした。ご本人には感謝しています。
- ・ 登用する理事の情報収集や候補者の絞り込みに苦慮しました。
- ・ 熱心にお誘いする。

## 土地改良区「女性の理事」のその後

Q. 「女性理事はどのような業務（仕事）をしていますか。」「土地改良区はどう変わりましたか。」「登用を検討している土地改良区さんはそこが疑問のようです。もちろん「男性理事と同じ仕事をやっています。」も当然の答えです。

皆様の土地改良区の状況を教えていただけますでしょうか。



土地改良区名：<sup>あががわ</sup>阿賀川土地改良区（福島県）

~~~~~  
〈唐司吉子理事より〉令和4年11月選任

■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

理事長はじめ役員の皆様ののおかげで安心して取り組んでいます。就任して1年半になりましたが、水田に円滑に水を入れるための水路や施設整備の維持をしていくためには、組合員の方々の協力があったことと実感しています。まだまだ勉強不足な私は、皆様の考えを傾聴し、土地改良区の役割を理解し、課題解決につなげていければと思います。

■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

農業関係者以外の方にも土地改良区の活動に関心をもってもらいたいと思います。そのためには愛称「水土里ネット」をさらに普及させること、そしてそれが地域住民にとって身近な存在になることが女性理事登用の第一歩になるのではないかと思います。

~~~~~  
〈猪俣今日子理事より〉

■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

大役ということは覚悟していましたが、活動内容を知るほどに、農業に従事していながら無知であったと痛感しました。同時に農業・農村の発展のために尽力したい気持ちが強くなりました。

また、男女共に自ら能力を発揮し、多様な人材が活躍することによって（※）インクルージョンが実現すると思います。

（※）誰にでも仕事に参画・貢献するチャンスがあり、平等に機会が与えられた状態。

■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

- ・女性の仕事と生活、地域活動への意識改革。
- ・日頃から、若い世代や女性に土地改良区を身近に感じてもらえるようなPRをする。

~~~~~  
<理事長、男性理事、事務局長より>

■登用によって土地改良区に生じた変化、登用を検討している土地改良区へのアドバイス。

令和4年11月の役員改選において、土地改良区業務・運営において女性の考え、パワーが必要であると考え選任させていただきました。1名では女性の方が不安になると思い、2名の方をお願いいたしました。これから他の理事の方々にも多くの影響があることを期待しております。(理事長)

当改良区の女性理事のお二人はとても明るく優しい方で、以前に比べ、会議の雰囲気も柔らかい雰囲気になったと感じます。(事務局)

■候補者探しや承諾までの苦労とうまくいく秘訣（義父母に説明など）。

女性理事登用を進めるに当たり、受け手を探すというのが最初にして最大のハードルだと思います。ターゲットを絞って声かけをしていただき、役割の内容を丁寧に説明していくことが大事かと思います。(事務局)

## 土地改良区「女性の理事」のその後

Q. 「女性理事はどのような業務（仕事）をしていますか。」「土地改良区はどう変わりましたか。」「登用を検討している土地改良区さんはそこが疑問のようです。もちろん「男性理事と同じ仕事をやっています。」も当然の答えです。

皆様の土地改良区の状況を教えていただけますでしょうか。



全国水士里ネット

土地改良区名：<sup>こいしろ</sup> 漕代土地改良区（三重県）

~~~~~  
〈澤和代理事より〉令和3年4月選任

■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

任期4年目になりましたが実際に理事を経験し、生計の基本が稲作だった昔とは違い、農業への理解や情熱も薄らいでいる組合員を目の当たりにし、後継者問題の難しさを思い知っています。高齢者以外の農業者を増やすことがひいては土地改良区存続につながっていくと考えますので、女性でも農業で生活が成り立つ、メリットがあるんだというような施策を分かりやすく大々的に打ち出していただけたらと願います。

■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

農業関係の企業を定年退職された女性の方だと、土地改良区への理解を得やすいのではと思います。土地改良区は農業に情熱のある方が非常に多い時代に始まったと聞いておりますが、現在はボランティア集団ではこなせない状況になっておりますので、報酬なども検討していただければよいのではないかと思います。

~~~~~  
〈理事長、男性理事、事務局長より〉

■登用によって土地改良区に生じた変化、登用を検討している土地改良区へのアドバイス。

会計に詳しく、複式簿記に移行になったタイミングと同時に理事に就任していただき、事務方との連携作業も円滑に進んでいます。（理事長）

今まで数字の羅列と難しい言葉で説明していた会議が、聞き取りやすく各理事が理解しやすいように、説明しようとしてくれているのが伝わります。他の理事と意見交換もしやすい会議内容となっています。（事務職員）

■候補者探しや承諾までの苦労とうまくいく秘訣（義父母に説明など）。

組合員の農業に関する意識の薄れが時代と共にあり、理事に責任の比重が掛かりすぎなのではと思います。あくまでも、組合員（農家）の代表として役割を果たしてくれていること、食を担う農家の皆さんと一緒に農業を支えるという重要なポジションであるということを組合員に理解してもらえよう日頃から、土地改良区がコミュニケーションをとればと願います。

## 土地改良区「女性の理事」のその後

Q. 「女性理事はどのような業務（仕事）をしていますか。」「土地改良区はどう変わりましたか。」「登用を検討している土地改良区さんはそこが疑問のようです。もちろん「男性理事と同じ仕事をやっています。」も当然の答えです。

皆様の土地改良区の状況を教えていただけますでしょうか。



たちばいようすい

土地改良区名：**立梅用水土地改良区（三重県）**

~~~~~  
〈中西眞喜子理事より〉平成28年3月28日選任（3期目途中 途中交代で入ったため）

■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

男とか女とか意識しなくてもいいのではないのでしょうか。今の時代そんなにこだわらなくても職務に差し支えないように思います。

ただ、田んぼの名義を夫から私に変えるよう指示があり、そのようにしました。我が家は、その点すんなり変えられました。

■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

三重県の農村女性アドバイザーの任命を受けていたので、その時の仲間たちとは今も交流があり、彼女たちの農に対する熱い思いは輝いていました。普及所の女性職員の方たちには大変お世話になり、こちらもまた今でも交流が続いているので、その方たちの意見もいただければと思います。

~~~~~  
〈理事長、男性理事、事務局長より〉

■登用によって土地改良区に生じた変化、登用を検討している土地改良区へのアドバイス。

土地改良区運営や交流イベントの実施に当たり女性目線での検討を加えられるようになりました。

複数の女性理事を求めるに当たり適任者の幅が広がるよう、定款を変更し員外理事を置けるようにしました。（理事長）

■候補者探しや承諾までの苦労とうまくいく秘訣（義父母に説明など）。

男性の役員のみならず手不足の中、組織や町おこし事業に関心のある女性が増えてきた状況下、水路等維持管理作業は男性、研修・イベント等は女性と担当を分担することで、候補者を探しやすくなるのではないのでしょうか。（理事長）

## 土地改良区「女性の理事」のその後

Q. 「女性理事はどのような業務（仕事）をしていますか。」「土地改良区はどう変わりましたか。」「登用を検討している土地改良区さんはそこが疑問のようです。もちろん「男性理事と同じ仕事をやっています。」も当然の答えです。

皆様の土地改良区の状況を教えていただけますでしょうか。



土地改良区名：おくかいんじ**奥海印寺土地改良区（京都府）**

~~~~~  
〈藤井孝子理事より〉令和5年4月選任

■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

理事着任1年間を振り返り、土地改良区自体の維持管理業務や全国組織形態の位置付けを改めて認識しました。

取り急ぎ、目先の課題解決のため、理事会や共同作業に出席し、男女の意識なくそれなりに務めています。

■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

特にありませんが、地域の各種役員など人材登用の活発化が図られるよう日頃のコミュニケーションが大切ではないでしょうか。

~~~~~  
〈理事長、男性理事、事務局長より〉

■登用によって土地改良区に生じた変化、登用を検討している土地改良区へのアドバイス。

今までと変化なく、問題の発生はありません。（理事長）

■候補者探しや承諾までの苦労とうまくいく秘訣（義父母に説明など）。

身近な方々だけでなく、広く婦人会等の地域のコミュニティと連携することが大切だと思います。（理事長）

## 土地改良区「女性の理事」のその後

Q. 「女性理事はどのような業務（仕事）をしていますか。」「土地改良区はどう変わりましたか。」、登用を検討している土地改良区さんはそこが疑問のようです。もちろん「男性理事と同じ仕事をやっています。」も当然の答えです。

皆様の土地改良区の状況を教えてくださいませんか。



土地改良区名：なんきょうすい 南紀用水土地改良区（和歌山県）

~~~~~  
〈二葉美智子理事より〉平成30年1月選任(現在2期目)

■理事になって思うこと(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)

庶務担当理事を任命され、事業要望活動や広報活動など、理事会のほか業務に携わられています。力仕事では差が出るでしょうけれど、老若男女関係なく、個々に得意業務に携われることがポイント。このようなことで、私は理事の職を難しく思いません。

ただ、男女共同参画と謳う中で、女性理事登用を推し進めるためでしょうが、過剰に取り上げられていると感じてしまいます。土地改良区の中に自然体でいたいです。

■女性理事登用を進めるための秘訣(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)

私は思っていないが、交流のある他地域の女性仲間と会話する中で、例えば、「農業委員会などと比べて、土地改良区理事については、敷居が高いよね。」と聞く。他の団体より遅れをとっているからでしょうけど、そこ(敷居が高い)を払拭するべきと思います。

土地改良区によって、理事の役目も様々だと思いますが、得意業務に携われるような仕組みづくりをすることも女性理事が入りやすくなると思います。

~~~~~  
〈理事長、男性理事、事務局長より〉

■登用によって土地改良区に生じた変化、登用を検討している土地改良区へのアドバイス。

- ・当土地改良区の女性理事は地元の農家であり、理事や職員と話が合います。組織の雰囲気明るく保たれています。登用には、まず、ご家族に理解をもらえるかがポイント。(理事長)
- ・男性にありがちな、端的な会話で終わるのではなく、世間話による情報交換などにより、周りがスキルアップに繋がる変化を受けています。登用には、定例会以外に対応してほしい業務をまとめ、理解がもらえるか本人への事前説明が重要だと思います。(事務局長)

■候補者探しや承諾までの苦労とうまくいく秘訣(義父母に説明など)。

- ・候補者探しは、単年・短期間では困難です。数年間かけての情報から、様々な候補者を想定し、組織に必要なか、役職員とのコミュニケーションが図れるか、承諾はいただけるかなど、将来の姿を日頃から副理事長、事務局長と会話しています。(理事長)

## 土地改良区「女性の理事」のその後

Q. 「女性理事はどのような業務（仕事）をしていますか。」「土地改良区はどう変わりましたか。」「登用を検討している土地改良区さんはそこが疑問のようです。もちろん「男性理事と同じ仕事をやっています。」も当然の答えです。

皆様の土地改良区の状況を教えていただけますでしょうか。



土地改良区名：やまかわ ち く 山川地区土地改良区（福岡県）

〈徳永順子理事より〉令和4年3月選任

■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

理事になるまで「土地改良」という言葉は私の中では遠いものでしたが、組織の中に入ると基盤整備等を進めていくうえで重要なものだと分かりました。軋みが出ないように潤滑油の役割も果たしたいと思います。

■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

肩書がなくても地域づくり等に熱心な女性の情報を、日頃からアンテナを張って入手しておくことが大切だと思います。

〈理事長、男性理事、事務局長より〉

■登用によって土地改良区に生じた変化、登用を検討している土地改良区へのアドバイス。

土地改良区の理事及び現在事業実施中の甲田地区（果樹園地整備）委員として、役員会並びに現地調査、その他に参加され、女性の感性を活かしたアイデアや視点で甲田地区の事業に奮闘中であります。（例 整備後の法面管理→景観植物の植栽、地元農作物の6次産業化ほか）  
また、会議は全体の雰囲気が柔らかくなり、活発な意見交換ができております。（事務局）

■候補者探しや承諾までの苦労とうまくいく秘訣（義父母に説明など）。

地域活動等に積極的に参加されている女性への働きかけが大事ではないでしょうか。（事務局）

## 土地改良区「女性の理事」のその後

Q. 「女性理事はどのような業務（仕事）をしていますか。」「土地改良区はどう変わりましたか。」「登用を検討している土地改良区さんはそこが疑問のようです。もちろん「男性理事と同じ仕事をやっています。」も当然の答えです。

皆様の土地改良区の状況を教えていただけますでしょうか。



土地改良区名：かしまし 鹿島市土地改良区（佐賀県）

~~~~~  
〈松本ちづよ理事より〉 令和5年4月選任

■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

土地改良区が行う事業について、理事になるまで知らなかったことばかりだったので、自分の地域のことも一組合員のままでは分からないことが多くあると知りました。

■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

やはり自分一人だけが女性というのは不安ですので、同じ立場の方がいた方が前向きにはなれるかと思います。

~~~~~  
〈理事長、男性理事、事務局長より〉

■登用によって土地改良区に生じた変化、登用を検討している土地改良区へのアドバイス。

男性理事と特に差はなく、同様の業務を勤めてもらっています。

土地改良区というとまだまだ男性社会の印象を持たれがちかと思しますので、前例が増えていくことによって、近くでも「これだけの土地改良区に女性理事がいる」と説明できるようになるかと思います。（理事長）

■候補者探しや承諾までの苦労とうまくいく秘訣（義父母に説明など）。

鹿島市土地改良区は比較的女性組合員の割合が多いことに加え、役員選挙については合併前の各土地改良区単位で理事を選出しているの、地区内に既に女性の役員がいっしょの地区等、女性理事を選出しやすい地区に推薦をお願いすることができました。同様の運営形態を持つ土地改良区については参考にできるかと思います。（事務局長）

## 土地改良区「女性の理事」のその後

Q. 「女性理事はどのような業務（仕事）をしていますか。」「土地改良区はどう変わりましたか。」「登用を検討している土地改良区さんはそこが疑問のようです。もちろん「男性理事と同じ仕事をやっています。」も当然の答えです。

皆様の土地改良区の状況を教えていただけますでしょうか。



なべしまひがし

土地改良区名：**鍋島東土地改良区（佐賀県）**

~~~~~  
〈中嶋スエ子理事より〉令和5年4月選任

■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

日頃から、土地改良事業への興味を持てるような研修会等が必要ではないでしょうか。

■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

理事となり、理事会に出席していますが、女性理事は1人ではなく複数いた方がよいと思います。

~~~~~  
〈理事長、男性理事、事務局長より〉

■登用によって土地改良区に生じた変化、登用を検討している土地改良区へのアドバイス。

女性理事を初めて登用する場合、1名登用するより、可能なら複数名同時に登用した方が、活動しやすいのではないかと思います。（理事長）

理事に就任されまだ1年くらいです。理事会の雰囲気には慣れてきた感じはあります。時々女性目線での鋭い意見も出てきた様子です。（事務局長）

■候補者探しや承諾までの苦労とうまくいく秘訣（義父母に説明など）。

理事登用の対象を地権者の家族や、更に組合員外まで広げられれば、女性理事登用も幾分か楽になるのではないのでしょうか。（理事長）

今回の女性理事登用においては、とにかく「あなたしかいない」と言って口説いた結果ですが、現状は女性の組合員が少ないです。今後は定款を変更してでも、員外理事等を取り込む必要があると思われます。（事務局長）

## 土地改良区「女性の理事」のその後

Q. 「女性理事はどのような業務（仕事）をしていますか。」「土地改良区はどう変わりましたか。」「登用を検討している土地改良区さんはそこが疑問のようです。もちろん「男性理事と同じ仕事をやっています。」も当然の答えです。

皆様の土地改良区の状況を教えていただけますでしょうか。



土地改良区名：おおしまいぜき **大島堰土地改良区（宮崎県）**

〈奥村千扶子理事長より〉平成31年4月選任（就任）

■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

土地改良区と言えば男社会と思っていました。理事になって戸惑うこともありましたが、今では女性の力が必要になってきています。男性女性とかじゃなく、お互いに土地改良区のために力を合わせていけたらいいのではないのでしょうか。

■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

女性理事登用を進めるに当たっては、農業をされている女性、農協の女性部、農業委員会女性部、またたくさん女性部がそれぞれにあるので各女性部が集まって話し合い、土地改良区のことを紹介（どんなことをしているのか、活動内容説明等）していくといいのではないかと思います。

■登用によって土地改良区に生じた変化、登用を検討している土地改良区へのアドバイス。

私の土地改良区では1人女性が事務をしています。女性ならではのいろいろなことの相談や話し相手にもなれるのではないかと思います。

仕事の面では男女関係なく“人”として協力し合い、理事全員が土地改良区のため一つになっていい方向へ向かっています。

■候補者探しや承諾までの苦労とうまくいく秘訣（義父母に説明など）。

候補者探しはまだやっていますが、これから次期改選までには探さなければいけないと思っています。

まずは、土地改良区の理事になることに関して、家族を説得することが大事だと思います。

## 土地改良区「女性の理事」のその後

Q. 「女性理事はどのような業務（仕事）をしていますか。」「土地改良区はどう変わりましたか。」「登用を検討している土地改良区さんはそこが疑問のようです。もちろん「男性理事と同じ仕事をやっています。」も当然の答えです。

皆様の土地改良区の状況を教えていただけますでしょうか。



おおよどがわうがん

土地改良区名： **大淀川右岸土地改良区（宮崎県）**

~~~~~  
〈小岩屋和子理事より〉令和5年4月選任（就任）

■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

農業を営みつつ夫婦二人三脚での経営。土地活用に性別の区別はありません。女性が土地改良に関心を持つのはよいことだと思います。

理事に温く迎えていただき活動に参加しておりますと仕組みや流れ、抱える問題などを知ることができます。より自分に身近になり愛着のある楽しい時間となります。ここからがスタートなのだと思います。農地を生かし守りたい気持ちが大きくなります。

■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

秘訣といわれるとあるような、ないような・・・ないです。

ただ難しく考えないのが良いと思います。男性に任せるのも今までは、当然な世界でした。

視点を変えてよりよく自分たちの土地を維持したい。そのためには、関心を持つことが大切だと思います。

二人三脚は、横並びで目的に向かって力を合わせる競技。性別は気にせず、男女が一緒に活動するのは自然なことです。

~~~~~  
〈前田峰子理事より〉令和5年4月選任（就任）

■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

まず、理事になった時点で「何で女性が？」という声を耳にしました。社会に残る性別による役割分担意識をなくすべきだと強く思いました。女性の強みは、地域でのしがらみがない、辛抱強い、情報量が多い、丁寧で細やかなコミュニケーション能力、それらを基に地域の皆さんと親しく話し、女性たちとも適切な水利用や既存施設利用の重要性等、踏み込んだ話ができるようになったことです。以前は気にも止めていなかったことが、理事になったことで多くのことを学び、それを人々に発信することで1人でも多くの方が土地改良区について、興味を持ってくれるといいなと思います。

■女性理事登用を進めるための秘訣(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)

女性が自分から進んで手を上げることは、厳しいと思います。地域での推薦とか、女性組織からの推薦とか、女性が選ばれることが重要なのですが、これまでの男性中心の意識を変えていく必要があると思います。これからの土地改良は男女関係なく参画していくことが大事だと思います。

女性会のメンバーを増やし、活動を通じ、興味を持ってもらい、女性の必要性を実感してもらえれば、自ら手を上げる人も出てくるのではないのでしょうか。そういう人を今から育てていくべきですね。

~~~~~  
<理事長、男性理事、事務局長より>

■登用によって土地改良区に生じた変化、登用を検討している土地改良区へのアドバイス。

女性理事の登用により、理事会等での発言が活発になりました。

また、当土地改良区では、女性理事を含めて女性会を結成しており、女性会の活動が活発になってきています。

■候補者探しや承諾までの苦労とうまくいく秘訣(義父母に説明など)。

主たる人は既にいろいろな役をもっています。他の役との調整が必要です。

家族に協力してもらうのが大切です。

## 土地改良区「女性の理事」のその後

Q. 「女性理事はどのような業務（仕事）をしていますか。」「土地改良区はどう変わりましたか。」「登用を検討している土地改良区さんはそこが疑問のようです。もちろん「男性理事と同じ仕事をやっています。」も当然の答えです。

皆様の土地改良区の状況を教えていただけますでしょうか。



土地改良区名：<sup>たからべちょう</sup> 財部町土地改良区（鹿児島県）

〈橋口まゆ理事より〉令和4年3月選任

### ■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

農業委員として、今の損得だけではなく、将来の農家・農業経営にとってどうなのかを考えてきた経験がとても役に立っています。作目によって農家の立場も様々。自分はお茶農家なので、その他の作目について細かなことまではわかりませんが、その立場を気に掛けることは農業委員の経験がなければできませんでした。土地改良区については運営、コスト、収入、賦課金などについて、数字の意味が徐々にわかってきたところです。

対話の時間、話し合いの場が大切だと考えます。理事会もスクール形式から口の字型の対面形式に変えていただきました。最初は驚かれましたが、お互いに顔を見て発言することで、議論もしやすくなったのではと思います。

土地改良区の見える化、各土地改良区の女性理事の見える化ができないものかと思っています。文字では、なかなか伝わりません。写真やイラストなど、視覚的に訴求するツールが必要だと感じます。

### ■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

自分が理事を引き受けた一番の理由は、日頃から理事長の人柄を信頼していたからですが、就任後、ありがたいと感じていることは、自分と同じ農業委員の方が何名か理事の中において、理事の仕事や土地改良区内の様々な情報を、日頃から細かく伝えてくださることです。自分は員外理事なので、特にここという担当地区がなく、各地域の情報が入りにくいのです。そのため、情報共有は大変ありがたいです。理事の仕事を含め、土地改良区内の情報が全くない状態で理事を引き受けるのはハードルが高い気がします。

~~~~~  
〈堀野義文理事長より〉

■登用によって土地改良区に生じた変化、登用を検討している土地改良区へのアドバイス。

事務局は2人の女性職員が担っています。女性理事の登用後、女性理事をハブにして、役員と職員との距離がとて近くなっており、特に女性理事には気軽に相談したり情報を伝え合ったりされているようです。お互いの仕事のこともよく観察されており、「役員」、「事務局」という役割分担を超えて、一緒に土地改良区を運営しているという意識が醸成されているように思います。

■候補者探しや承諾までの苦労とうまくいく秘訣（義父母に説明など）。

秘訣になるかどうかはわかりませんが、まずは、我々が、「土地改良区は男性社会」という認識を捨てるべきだと思っています。農家は男性だけで運営しているわけではありません。共同作業には、当たり前にも女性の皆さんも出てこられます。仕事を男女で分けるのではなく、それぞれができる仕事を行い、足りないところは補い合えば良いと思っています。

今、女性理事は員外理事ですが、いずれは員内理事も女性に入っていただきたいし、総代にも女性の皆さんを入れていきたいです。理事の半数、総代の半数が女性になっていいと思います。

## 土地改良区「女性の理事」のその後

Q. 「女性理事はどのような業務（仕事）をしていますか。」「土地改良区はどう変わりましたか。」「登用を検討している土地改良区さんはそこが疑問のようです。もちろん「男性理事と同じ仕事をやっています。」も当然の答えです。

皆様の土地改良区の状況を教えていただけますでしょうか。



全国水士里ネット

土地改良区名：かごしましまつもと**鹿児島市松元土地改良区（鹿児島県）**

〈宮元愛子理事より〉平成30年4月選任

■理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

会計担当理事として土地改良区にお世話になっていますが、本来の土地改良区の役割であったり、業務内容であったり、理解していない部分が多々あります。女性理事が1人ということもあり発言等を躊躇しますが、女性理事が複数選任されれば、女性の立場で様々な意見を発することができるのではないかと思います。

■女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

今年度、本土土地改良区内で女性の会（理事・監事・総代・職員2名）を設立し、顔合わせの会を実施しました。その中で、ダムを活用したイベントの開催やSDGsへの取組について意見交換がなされました。今後は、組合員等の女性の方にも参加いただき、土地改良区について理解を深める活動につながればと思っています。また、土地改良区を知るための研修会などがあれば積極的に参加し、情報収集を行い理解を深めることも重要だと思います。

〈理事長、男性理事、事務局長より〉

■登用によって土地改良区に生じた変化、登用を検討している土地改良区へのアドバイス。

平成30年の役員改選時に、理事年齢を20歳ほど若返りさせるとともに、女性理事の登用を行いました。それまでの理事会では、攻撃的な内容の発言が多々ありましたが、女性が参加することで場の雰囲気が和らぎ事務局の環境も改善が図られました。（理事長）

■候補者探しや承諾までの苦労とうまくいく秘訣（義父母に説明など）。

候補者探しは、今でも大変苦労しています。

今回発足した女性の会が、「土地改良区を知る」きっかけとして機能してくれることを切に願っています。そのために、土地改良区も可能な限りバックアップしていきたいと考えています。